



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	27-8967-5	版	4.00
発行日	2023/08/15	前発行日	2021/09/02

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3MTM 風車用エッジシーラー W2600 キット

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

本製品は個々に包装された複数の構成部品からなるキット製品である。SDSには個々の構成部品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

27-8973-3, 27-8969-1

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

キット：コンポーネント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	27-8969-1	版	3.00
発行日	2023/08/15	前発行日	2021/08/03

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[®] 風車用エッジシーラー W2600 (パートA)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

シーラント

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類

呼吸器感作性： 区分1

皮膚感作性： 区分1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

感嘆符 健康有害性

ピクトグラム

**危険有害性情報**

H334	吸入するとアレルギー，ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H335	呼吸器への刺激のおそれ

注意書き**安全対策**

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P284A	換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい状態を確保すること。
P342 + P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。

保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

その他の有害性

過去にイソシアネートの感作を受けた人は、他のイソシアネートに対して交差感作反応を発現することがある。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	28182-81-2	99 - 100
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	0.10

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

気道を刺激する（咳、くしゃみ、鼻汁、頭痛、嘔声、鼻や喉の痛み）。アレルギー性呼吸反応（呼吸困難、喘鳴、咳、胸部圧迫感）。アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

入手可能な情報無し。

使ってはならない消火剤

水を使ってはいけない。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
シアン化水素
窒素酸化物

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で

漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

流出物へ、イソシアネート浄化溶液（水90%、濃縮アンモニア8%、2%洗浄剤）を注ぎ、10分間反応させる。あるいは、流出(物)へ、水を注ぎ、30分以上反応させる。吸収性のある物質で覆う。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 関係当局が許可した輸送用容器に入れる。圧力上昇を避けるために、48時間以上は密閉しない。 洗剤と水で残さを清浄にする。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

換気の良い場所で保管すること。 水や空気から避けるため、容器はしっかりと密閉する。水や空気と接触したことが疑われる場合は、容器を再密閉しない。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	ACGIH	TWA : 0.005 ppm	
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	JSOH OELs	TWA (8時間) : 0.034 mg/m ³ (0.005 ppm)	呼吸器感作性が確認された物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質： ブチルゴム

ポリエチレン

樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ブチルゴム製エプロン
エプロン-ポリエチレン製
ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	淡黄色
臭い	無臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=203 °C [試験条件: 133.322 Pa]
引火点	166 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	<=186, 158.4 Pa [試験条件: 55 °C] [詳細: MITSデー

	タ]
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	1.16 [参照基準:水=1]
溶解度	適用しない。 [詳細:条件:反応時]
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	>=40,000 mPa-s
揮発性有機化合物	2.4 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細:EU VOC含有量。]
揮発分	0.2 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	2.4 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

危険な重合が起こることがある。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

強酸

危険有害な分解物

物質 条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは

製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 アレルギー性呼吸器反応： 呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

追加情報

過去にイソシアネートの感作を受けた人は、他のイソシアネートに対して交差感作反応を発現することがある。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	専門家 による 判断	LC50 推定値 1 - 5 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ヘキサメチレンジイソシアネート	皮膚	ラット	LD50 > 7,000 mg/kg
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.124 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 0.124 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート	経口摂取	ラット	LD50 710 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果

ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	ウサギ	わずかな刺激
ヘキサメチレンジイソシアネート	ウサギ	腐食性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	ウサギ	軽度の刺激
ヘキサメチレンジイソシアネート	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	モルモット	感作性あり
ヘキサメチレンジイソシアネート	多種類の動物種	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	類似化合物	区分に該当しない。
ヘキサメチレンジイソシアネート	ヒト及び動物	感作性あり

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	In vitro	変異原性なし
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	In vivo	変異原性なし
ヘキサメチレンジイソシアネート	In vitro	変異原性なし
ヘキサメチレンジイソシアネート	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	ラット	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.002 mg/l	7 週
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.002 mg/l	7 週
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.014 mg/l	4 週

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。		NOAEL 非該当	
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	血液	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	吸入した場合	免疫システム 血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.084 mg/l	2 週
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.002 mg/l	3 週
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0014 mg/l	4 週
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0012 mg/l	2 年
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.002 mg/l	7 週
ヘキサメチレンジイソシアネート	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.001 mg/l	90 日

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ヘキサメチレンジイソシア	28182-81-2	液状化	実験	3 時間	EC50	3,828 mg/l

ネート ポリマー						
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	28182-81-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	28182-81-2	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	127 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	28182-81-2	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	28182-81-2	緑藻類	実験	72 時間	EC10	370 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	緑藻類	推定値	96 時間	EC50	14.8 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	メダカ	推定値	96 時間	LC50	71 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	27 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	液状化	実験	3 時間	EC50	842 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	10 mg/l
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	4.2 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	28182-81-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	1 %BOD/ThOD	
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	28182-81-2	実験 加水分解		加水分解性半減期	7.7 時間 (t _{1/2})	

ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	82 %BOD/ThOD	OECD 301D - クロージドボトル法
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	実験 加水分解		加水分解性半減期	5 分 (t 1/2)	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ヘキサメチレンジイソシアネート ポリマー	28182-81-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ヘキサメチレンジイソシアネート	822-06-0	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.02	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の 3)

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

消防法：第四類第三石油類

本製品は下表の毒物及び劇物取締法の情報が表示されている物質を含むが、毒物及び劇物取締法の製剤には該当しない。

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第 182 号の 2

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
ヘキサメチレンジイソシアネート	ヘキサメチレンジイソシアネート	該当	該当

毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
ヘキサメチレンジイソシアネート	ヘキサメチレンジイソシアネート及びこれを含有する製剤	劇物

16. その他の情報

改訂情報

- セクション1：製品用途 情報の追加.
- セクション2：GHS分類 情報修正.
- セクション2：絵表示 情報修正.
- セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.
- セクション2：注意喚起語 情報修正.
- セクション2：シンボル 情報修正.
- セクション3：成分表 情報修正.
- 項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.
- セクション4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正.
- セクション8：mg/m³ 記号 情報の追加.
- セクション8：ppm 記号 情報の追加.
- セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
- セクション9：燃焼性 (固体、ガス)情報 情報修正.
- セクション9：pH情報 情報修正.
- セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
- セクション11：急性毒性の表 情報修正.
- セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション11：健康影響情報 (吸入した場合) 情報修正.
- セクション11：生殖毒性の表 情報修正.
- セクション11：呼吸器感作性の表 情報修正.
- セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション11：皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
- セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション12：生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション15：労働安全衛生法の表 情報の追加.
- セクション15：法規名 - 表 情報の削除.
- セクション15：毒物及び劇物取締法の表 情報の追加.
- セクション15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	27-8973-3	版	4.00
発行日	2023/08/15	前発行日	2021/08/03

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[®] 風車用エッジシーラー W2600 (パートB)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

シーラント

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚感作性： 区分1

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H411 長期継続的影響により水生生物に毒性
H402 水生生物に有害

注意書き

安全対策

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E 保護手袋を着用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P321 特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P391 漏出物を回収すること。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ポリエステルポリオール	営業秘密	60 - 70
ポリカプロラクトントリオール	37625-56-2	10 - 30
アジピン酸ネオペンチルグリコール重合物	27925-07-1	5 - 10
ブタン-1,4-ジオール・オキセパン-2-オン重合物	31831-53-5	5 - 10
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	6197-30-4	0.1 - 1
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	41556-26-7	< 1
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	82919-37-7	< 1
ジブチルビス(2,3-ジヒドロキシ	68298-38-4	0.20

プロピルチオ) スズ

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。症状が発現した場合には空気の新鮮な場所に移し、医療機関を受診すること。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素
窒素酸化物

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける(塩素、クロム酸等)。指定された個人保護具を使用する。

保管

酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
スズ、有機化合物	68298-38-4	ACGIH	TWA (スズとして) : :0.1 mg/m ³ 、STEL (スズとして) : 0.2 mg/m ³	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

適用しない

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	粘調
色	無色
臭い	溶剤
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=126.7 °C
引火点	104.4 °C [試験方法: クローズドカップ法] [詳細: セタ式]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	1.14 [参照基準: 水=1]
溶解度	微量 (<10%)
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	42,000 mPa-s

揮発性有機化合物	2.3 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細: EU VOC含有量。]
揮発分	0.2 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	2.3 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

皮膚に付着した場合

皮膚に接触すると有害のおそれ。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報**生殖毒性**

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ポリカプロラクトントリオール	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリカプロラクトントリオール	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ブタン-1,4-ジオール・オキセパン-2-オン重合体	皮膚		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
アジピン酸ネオペンチルグリコール重合体	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
アジピン酸ネオペンチルグリコール重合体	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ブタン-1,4-ジオール・オキセパン-2-オン重合体	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	経口摂取	ラット	LD50 3,125 mg/kg
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	経口摂取	ラット	LD50 3,125 mg/kg
ジブチルビス(2,3-ジヒドロキシプロピルチオ)スズ	経口摂取		LD50 推定値 300 - 2,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果

ポリカプロラクトントリオール	ウサギ	刺激性なし
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	ウサギ	わずかな刺激
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	ウサギ	わずかな刺激
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	ウサギ	わずかな刺激
ジブチルビス(2,3-ジヒドロキシプロピルチオ)スズ	類似化合物	刺激物

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリカプロラクトントリオール	ウサギ	刺激性なし
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	ウサギ	軽度の刺激
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	類似健康有害性	軽度の刺激
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	ウサギ	軽度の刺激
ジブチルビス(2,3-ジヒドロキシプロピルチオ)スズ	類似化合物	激しい刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリカプロラクトントリオール	マウス	区分に該当しない。
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	モルモット	感作性あり
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	モルモット	区分に該当しない。
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	モルモット	感作性あり
ジブチルビス(2,3-ジヒドロキシプロピルチオ)スズ	モルモット	感作性あり

光感作性

名称	生物種	値又は判定結果
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	モルモット	感作性なし

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ポリカプロラクトントリオール	In vitro	変異原性なし
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	In vivo	変異原性なし
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	In vitro	変異原性なし
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	In vivo	変異原性なし
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	In vivo	変異原性なし
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジブチルビス(2,3-ジヒドロキシプロピルチオ)スズ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

ジブチルビス (2, 3-ジヒドロキシプロピルチオ) スズ	In vivo	変異原性
-------------------------------	---------	------

発がん性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ポリカプロラクトントリオール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg	妊娠期間中
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,493 mg/kg/日	29日
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 209 mg/kg/日	授乳期早期交配
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 804 mg/kg/日	授乳期早期交配
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	器官発生期
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,493 mg/kg/日	29日
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 209 mg/kg/日	授乳期早期交配
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 804 mg/kg/日	授乳期早期交配
ジブチルビス (2, 3-ジヒドロキシプロピルチオ) スズ	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 2 mg/kg/日	授乳期早期交配
ジブチルビス (2, 3-ジヒドロキシプロピルチオ) スズ	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 2.5 mg/kg/日	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
ジブチルビス (2, 3-ジヒドロキシプロピルチオ) スズ	経口摂取	免疫システム	臓器への影響	ラット	LOAEL 5 mg/kg	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	経口摂取	眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28日
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	経口摂取	消化管 肝臓 免疫システム 心臓 内分泌系 造血器系 神経系 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,493 mg/kg/day	29日
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチル	皮膚	造血器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 534 mg/kg/day	13週

ヘキシル						
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,085 mg/kg	90 日
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	経口摂取	血液 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 1,085 mg/kg/day	13 週
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジル	経口摂取	眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日
セバシン酸メチル 1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジル	経口摂取	消化管 肝臓 免疫システム 心臓 内分泌系 造血器系 神経系 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,493 mg/kg/day	29 日
ジブチルビス (2,3-ジヒドロキシプロピルチオ) スズ	経口摂取	肝臓	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 2 mg/kg/day	2 週
ジブチルビス (2,3-ジヒドロキシプロピルチオ) スズ	経口摂取	免疫システム	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.3 mg/kg/day	28 日

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)

GHS 水生環境有害性 (急性) 区分3 : 水生生物に有害。

水生環境有害性 長期 (慢性)

GHS 水生環境有害性 長期 (慢性) 区分2 : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ポリエステル ポリオール	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足してい	該当なし	該当なし	該当なし

			る。			
ポリカプロラク トントリオ ール	37625-56-2	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	670 mg/l
ポリカプロラク トントリオ ール	37625-56-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	490 mg/l
ポリカプロラク トントリオ ール	37625-56-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>900 mg/l
ポリカプロラク トントリオ ール	37625-56-2	ゼブラフィッ シュ	実験	96 時間	LC50	150 mg/l
ポリカプロラク トントリオ ール	37625-56-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	240 mg/l
ブタン-1,4- ジオール・オ キセパン-2- オン重合物	31831-53-5	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	461 mg/l
ブタン-1,4- ジオール・オ キセパン-2- オン重合物	31831-53-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	165 mg/l
ブタン-1,4- ジオール・オ キセパン-2- オン重合物	31831-53-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	290 mg/l
ブタン-1,4- ジオール・オ キセパン-2- オン重合物	31831-53-5	ゼブラフィッ シュ	実験	96 時間	LC50	72 mg/l
ブタン-1,4- ジオール・オ キセパン-2- オン重合物	31831-53-5	緑藻類	実験	72 時間	EC10	76 mg/l
アジピン酸ネ オペンチルグ リコール重合 物	27925-07-1	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
2-シアノー 3,3-ジフェニ ルアクリル酸 2-エチルヘキ シル	6197-30-4	液状化	実験	30 分	NOEC	1,000 mg/l
2-シアノー 3,3-ジフェニ ルアクリル酸	6197-30-4	ゴールドンオ ルフエ (鯉)	実験	96 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな	>100 mg/l

2-エチルヘキシル					い	
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸 2-エチルヘキシル	6197-30-4	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸 2-エチルヘキシル	6197-30-4	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸 2-エチルヘキシル	6197-30-4	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸 2-エチルヘキシル	6197-30-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.00266 mg/l
ビス(1,2,2,6,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジンル)セバシン酸	41556-26-7	緑藻類	実験	72 時間	EC50	1.68 mg/l
ビス(1,2,2,6,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジンル)セバシン酸	41556-26-7	ミジンコ	実験	24 時間	EC50	20 mg/l
ビス(1,2,2,6,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジンル)セバシン酸	41556-26-7	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	0.9 mg/l
ビス(1,2,2,6,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジンル)セバシン酸	41556-26-7	緑藻類	実験	72 時間	EC10	0.34 mg/l
ビス(1,2,2,6,6,6-ペンタメチル	41556-26-7	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	1 mg/l

-4-ピペリジニル)セバシン酸						
セバシン酸メチル 1, 2, 2, 6, 6, - ペンタメチル -4-ピペリジ ル	82919-37-7	液状化	推定値	3 時間	EC50	>100 mg/l
セバシン酸メチル 1, 2, 2, 6, 6, - ペンタメチル -4-ピペリジ ル	82919-37-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	1.68 mg/l
セバシン酸メチル 1, 2, 2, 6, 6, - ペンタメチル -4-ピペリジ ル	82919-37-7	ミジンコ	推定値	24 時間	EC50	20 mg/l
セバシン酸メチル 1, 2, 2, 6, 6, - ペンタメチル -4-ピペリジ ル	82919-37-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	0.9 mg/l
セバシン酸メチル 1, 2, 2, 6, 6, - ペンタメチル -4-ピペリジ ル	82919-37-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	0.34 mg/l
セバシン酸メチル 1, 2, 2, 6, 6, - ペンタメチル -4-ピペリジ ル	82919-37-7	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	1 mg/l
ジブチルビス (2, 3-ジ ヒドロキシ プロピルチオ) スズ	68298-38-4	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリエステル	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

ポリオール						
ポリカプロラク トントリオ ール	37625-56-2	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	77 CO2発生量 /理論CO2発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
ブタン-1,4- ジオール・オ キセパン-2- オン重合体	31831-53-5	実験 生分解 性		二酸化炭素の 発生	84 CO2発生量 /理論CO2発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
アジピン酸ネ オペンチルグ リコール重合 体	27925-07-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2-シアノー 3,3-ジフェニ ルアクリル酸 2-エチルヘキ シル	6197-30-4	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	0 %BOD/ThOD	EU Method C. 4-D Manometric Respirometry Test
ビス (1,2,2,6,6,- ペンタメチル -4-ピペリジ ニル)セバシ ン酸	41556-26-7	実験 生分解 性	28 日	DOC (溶存有 機炭素) 残留 量	38 DOC除去%	OECD 301E - 修正 OECDスクリーニング 試験
セバシン酸メ チル 1,2,2,6,6,- ペンタメチル -4-ピペリジ ル	82919-37-7	推定値 生分 解性	28 日	DOC (溶存有 機炭素) 残留 量	38 DOC除去%	OECD 301E - 修正 OECDスクリーニング 試験
ジブチルビス (2,3-ジ ヒドロキシ プロピルチオ) スズ	68298-38-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ポリエステル ポリオール	営業秘密	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリカプロラ クトントリオ ール	37625-56-2	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	2.4	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分 配係数)、高速液体 クロマトグラフィー
ブタン-1,4- ジオール・オ	31831-53-5	推定値 生態 濃縮		生物濃縮係数	7.4	

キセパン-2-オン重合物						
アジピン酸ネオペンチルグリコール重合物	27925-07-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	6197-30-4	実験 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	887	OECD305-生体濃縮度試験
2-シアノ-3,3-ジフェニルアクリル酸2-エチルヘキシル	6197-30-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	6.1	EC A.8 Partition Coefficient
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	41556-26-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	<31.4	
ビス(1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル)セバシン酸	41556-26-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.37	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
セバシン酸メチル1,2,2,6,6,-ペンタメチル-4-ピペリジニル	82919-37-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.77	
ジブチルビス(2,3-ジヒドロキシプロピルチオ)スズ	68298-38-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3082 環境有害物質（液体）

輸送分類（IMO）：9 その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9 その他の有害性物質

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

消防法：第四類第三石油類

海洋汚染防止法：環境有害物質

船舶安全法、航空法：有害性物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
ジブチルビス（2，3-ジヒドロキシプロピルチオ）スズ	すず及びその化合物	該当	該当

16. その他の情報**改訂情報**

セクション 1：製品用途 情報の追加.

セクション 2：GHS分類 情報修正.

セクション 2：健康有害性 情報の追加.

セクション 2：注意書き - 安全対策 情報修正.

セクション 2：注意書き - 応急措置 情報修正.

セクション 3：成分表 情報修正.

項目 4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.

セクション 4：応急措置（吸入した場合）の情報 情報修正.

セクション 5：火災時情報（消火剤） 情報修正.

セクション 8：mg/m³ 記号 情報の追加.

セクション 8 : ppm 記号 情報の追加.
セクション 9 : 燃焼性 (固体、ガス) 情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼点 (下限) 情報 情報修正.
セクション 9 : 燃焼点 (上限) 情報 情報修正.
セクション 9 : pH 情報 情報修正.
セクション 10 : 燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション 11 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 11 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 11 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション 12 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
セクション 12 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 12 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 12 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 15 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
セクション 15 : 法規名 - 表 情報の削除.
セクション 15 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項 : この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本 SDS の記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3M ジャパン グループの SDS は日本のウェブサイトから入手できます。